

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 学校の教育目標 | 豊かな人間性と たくましい創造力をそなえた 心身共に健全な子どもの育成 |
|---------|-------------------------------------|

| 学校経営の重点 | 評価指標 | 自己評価 | 結果の考察・分析、及び改善策等 | 学校関係者評価 | |
|-------------------------------|--|------|---|---------|---|
| | | | | 評価 | コメント |
| 確かな学力の定着と向上 ※ SWPBS の視点も加味 | 学習のきまりを守り、宿題や読み声、家庭学習に進んで取組んでいる。 | 3.7 | <ul style="list-style-type: none"> タブレットと本年度導入された電子黒板とを、効果的に活用した授業改善に取り組んだ。読み取りや情報共有、発表等で有効活用でき、主体的・対話的で深い学びが深化してきた。 児童が進んで本を読みたくなるような手立てが、あまり取れなかった。今後、家庭と連携しながら、よりよい手立てを考え、実践していきたい。 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"> 学力テストの結果や授業参観の様子等から、個別指導がしっかりなされ、その成果が表れている。 家庭学習の取組は、個人差が大きい。引き続き学校と家庭が連携していく必要がある。 |
| | 主体的・対話的で深い学びができる授業を創造したり、読書量を増やしたりする工夫をしている。 | | | | |
| | 小規模校ならではの個に応じた学習指導に取り組んでいる。(遠隔授業の導入・タブレットの活用等) | | | | |
| 豊かな人間性の育成 ※ SWPBS の視点も加味 | 道徳を中心とした心の教育により、規範意識と人権意識を高めている。 | 3.3 | <ul style="list-style-type: none"> あいさつ指導を継続し、進んであいさつができるようにする。また、相手を意識したコミュニケーションの仕方を、身に付けさせる必要がある。 SWPBSは、「意見をよく聞き、考えをはっきり伝える。」「友だちと折り合いをつけ、みんなで楽しく過ごす。」の取組に力を入れた。望ましい行動様式を児童と共有し、適切に支援できたことで、学校生活や人間関係が充実してきた。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> あいさつは常時指導だけでなく、SWPBSの望ましい行動様式にも位置付けられ、できたら褒める指導がなされている。 児童は、以前より進んで大きな声であいさつができるようになってきている。 |
| | 児童が自分から進んで、元気のよいあいさつができるよう指導している。 | | | | |
| | 様々な体験活動を通して、協調性やコミュニケーション力が伸びてきている。 | | | | |
| 健康で安全な学校 | 児童一人一人に合った体力づくりに取り組んでいる。(スクールスポーツプランに基づく体力づくり) | 3.4 | <ul style="list-style-type: none"> 深夜までオンラインゲームをしている実態があった。そこで、全児童・保護者を対象に講師を招聘し、メディアの長時間使用による脳への影響等について学ぶ機会を設けた。家庭でのルールづくりをするきっかけとなった。 スクールスポーツプランを元に、個々の課題に応じた手立てを講じたり、体育振興指導教員による授業を実施したりして、体力の底上げができた。 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"> スマホやゲーム等の使用は、基本的には家庭の問題である。今後も学校から保護者への啓発を続け、家庭と連携した取組が必要である。 様々な場合を想定した避難訓練を実施し、児童の危機回避能力が培われている。地震時に棚等が倒れないように、棚の固定等もしっかりなされている。 |
| | 基本的な生活習慣のもと、健康や安全に気を付けて生活している。 | | | | |
| | 安全点検や避難訓練の充実等を通して、危機回避能力の向上に取り組んでいる。 | | | | |
| 地域に開かれた学校 | 地域の力を活用した学習や学校行事等を通して、ふるさとを大切に思う児童が育っている。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> 参観日、グラウンドゴルフ、いもほり等とおして、地域の方々と一緒に楽しく交流できている。また、これらの活動が、児童のコミュニケーション力育成にもつながっている 学校便り、マチコミメール、ホームページ等で学校の様子をこまめに情報発信できた。 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍が明け、徐々に地域との交流がしっかりできるようになってきた。今後も交流活動を大切にしていきたい。 教育活動をこまめに情報発信しており、学校の様子がよく分かる。 |
| | 授業参観や各種通信、HP、まちコミメール配信などで適宜学校の様子を知らせている。 | | | | |

評価は4段階 (4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する)